

Global × Innovation 人材育成フォーラムについて

令和6年6月18日
文部科学事務次官決定

1. 趣旨

人口減少期において、企業等の価値向上につながる人的資本の拡充が求められる中で、G7 富山・金沢教育大臣会合（令和5年5月）において人的交流をコロナ禍前以上に拡大させることが合意されたほか、教育未来創造会議第二次提言（令和5年4月27日）においては、2033年までに「日本人学生の海外派遣者数を50万人」とすることとされた。

この目標を達成し我が国の国際競争力向上に寄与するためには、伸び悩みが指摘される留学の裾野を広げることにより、社会や地域にイノベーションを起こすグローバル人材育成を加速するとともに、大学をはじめとする高等教育の国際通用性・競争力を強化することが求められる。社会全体で留学機運の醸成を進め、安心して積極的に留学にチャレンジできる環境の整備等についてスピード感をもって対応できるよう、留学促進方策等の論点について、グローバル人材育成に係るステークホルダーが広く集い意見交換を行う。

この意見交換に当たり、各界・各層の有識者で構成される対話の場（以下「フォーラム」という。）を以下の要領にて開催する。

2. 検討事項

- (1) 留学機運を醸成するためにすべきこと
- (2) 安心して留学にチャレンジできる環境整備の在り方
- (3) その他目標達成に向けて留意すべき事項
※外国人留学生の受入れについても意見を聴取

3. 運営

- (1) フォーラムは別に定める委員等の協力を得て、「2. 検討事項」について検討する。
- (2) フォーラムに座長を置き、フォーラムに属する委員の互選により選任する。
- (3) フォーラムの運営に関する事項及びその他必要な事項は、フォーラムにおいて定める。
- (4) 官民共同海外留学創出プロジェクトチームにおいて、フォーラムに係る積極的な広報を行う。

4. 構成

- (1) フォーラムに属する委員は最大12名とし、産業界・大学関係者・グローバル人材・関係機関に属する者から構成する。
- (2) 委員の任期は1年とし、更新を可とする。

5. 開催期間

令和6年6月18日から令和7年6月30日までとする。

6. 庶務

会議に関する庶務は、高等教育局参事官（国際担当）及び官民協働海外留学創出プロジェクトチームが共同して処理する。